

URL <http://www.mnt.ynu.ac.jp/mlab/mnm2013.html>

開催日 2013年11月5日(火)~7日(木)

会場 仙台国際センター(宮城県仙台市)

URL <http://www.sira.or.jp/icenter/>

講演申し込み締切日 2013年7月12日(金)

原稿提出締切日 2013年9月20日(金)

講演申込方法 上記HPをご覧ください



マイクロ・ナノ工学部門は、マイクロ・ナノメートルの領域における工学・理学に機械工学がさらなる主体的貢献を行うことを目的とし、2006年12月に設置されたマイクロ・ナノ工学専門会議を前身として、横断的な活動をさらに進めるために平成24年4月に発足した新しい組織です。

昨年「第4回マイクロ・ナノ工学シンポジウム」では、幅広い分野から約160件の口頭・ポスター発表を得て、同時開催した電気学会第「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウムと応用物理学会「集積化MEMSシンポジウム」との活発な交流を行いました。第5回目となる本シンポジウムは、昨年同様、電気学会センサ・マイクロマシン部門と応用物理学会集積化MEMS技術研究会と協力し、3つのシンポジウムを同時開催します。他学協会との連携企画やオーガナイズドセッションも企画しております。電気系、応用物理系、材料系などの研究者・技術者と研究交流ができる場となっております。また、優秀な講演・ポスター発表を行った若手研究者の中から、日本機械学会若手優秀講演フェロー賞、優秀講演論文表彰、若手優秀講演表彰などを選考し、後日授与する予定です。皆様の積極的な論文投稿、参加をお待ちしております。

1)オーガナイズドセッション

OS1 マルチスケール現象のシミュレーション技術

OS2 三次元の微細形状創成技術

OS3 マイクロ・ナノ生体医工学

OS4 電池レス・デバイスのためのエネルギーハーベットの展開

(マイクロエネルギー研究会, エネルギーハーベスティングコンソーシアムの共同企画)

OS5 マイクロ・ナノと熱電変換(日本熱電学会との共同企画)

OS6 マイクロナノトライボロジー(日本トライボロジー学会との共同企画(予定))

OS7 スマート・インテリジェント材料・デバイス(日本MRSとの共同企画)

2)一般セッション

マイクロ・ナノ工学全般にわたる研究発表を幅広く募集します。

3)ポスターセッション

電気学会、応用物理学会と合同で開催します。

*各OS、一般セッション、ポスターセッションの詳細はシンポジウムHPをご覧ください。

実行委員会:

丸尾 昭二(委員長, 横浜国立大学)

青柳 誠司(関西大学)

安藤 泰久(東京農工大学)

井上 康博(京都大学)

小穴 英廣(東京大学)

米谷 玲皇(東京大学)

塩見 淳一郎(東京大学)

鈴木 雄二(東京大学)

徳増 崇(東北大学)

生津 資大(兵庫県立大学)

宮崎 康次(九州工業大学)



問合せ先: 日本機械学会(担当職員 大竹 英雄) E-mail: otake@jsme.or.jp